

人間には自然が必要か
油井貴志(21211351ty@tama.ac.jp)

概要

私たち人間は自然と関わりながら暮らしているが近年では都市部の緑が減りつつあり自然が人間にもたらすものはなにか、または必要なのか

目的

自然が人間にもたらすもの（心理的なものや健康にかかわることなど）を調べ、人間にとって必要なものかを研究する。

内容

まず人間にとって必要なもの（ニーズ）とはなにか。

次に自然が人間に対してもたらすものについてであるが、よく森や山など自然の多い場所へ行くと癒しの効果があると言われる。

それに加え教育的な面で見ても自らの五感を使って遊ぶ、いわゆる体験活動を行うことが今日では不足しているといわれており、そういった面で見ても自然に触れ遊ぶということは極めて有意義なものであるといえる。

結果

自然に触れるということは人間には必要であるということがわかる。

しかし、必要とはいってもそれが目に見えて効果が表れるものではなく、心理的な要素が多分に含まれているために個人差が発生し、それがどれほどの価値があるか感じ取りにくい。

そういった「見えない価値」に対してどのような価値があるのか考え、感じ取りつつ自然と接してみるべきではないだろうか。

参考資料・文献

- ・ 神々の風景と日本人のころ 著者：渡部昇一 山折哲雄
- ・ 『「内なる幸福」を求めて― 良きオカルト・良き自由時間の本質 ― 「見えない価値」とは―』 著者：渡部昇一 松田義幸
- ・ 体験活動事例集―体験のスプー [平成 17、18 年度 豊かな体験活動推進事業より]

http://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/seitoshidou/04121502/055/003.htm

- ・ 森林浴効果と森林浴セラピー

<http://foresttherapy.inspiration9.net/020/>